

# ＜真剣味＞②④

2015.4.8

## 花粉症のなか遠征を！

いつから発症したか分かりませんが、確か40歳代のある日、グラウンドに立っている時に突然目がかゆくなりました。もしかしてこれが、あの花粉症かと思いました。そしてそれから毎年のように目のかゆみがきます。実は我が家の周りには防風林としての杉がたくさんあります。もしかしてこれもその原因の1つかもしれません。それもあって半分ぐらいの杉をバッサリいき、さっぱりしました。でもまだ治りません。だからどこへ行くにしても、何をするにしても目薬・洗浄液・ティッシュは手放せません。

## 埼玉・長野遠征

3月は遠征・試合と続き、私の体は少しダメージを受けている感じです。選手たちも移動、宿泊などから少し疲れもあり、心の切り替えがうまく出来ず、集中力不足のまま試合に入った選手もいたように思えます。心の切り替え、体のケアを。

埼玉では対所沢南シニア3－4負け●、新座東シニア8－12負け●

上田では对上田シニア3－11負け●、長野北シニア7－4勝ち○

「攻撃面」では全体的にヒットが出てランナーになることはできるようになった。そしてそこからランナーを次へ送ることがうまく出来ず、中押しに繋がらなかった。結果として、流れが相手チームにいき得点できずに負けることになった。

「守備面」ではバッテリーが気になりました。去年の終わりは、コーチと相談してとても良い攻め方をしていました。今回はそのいい感じが頭から飛び、相手にフルスイングされることが多かった。今後スイングさせない配球をまた考えてもらいたい。さらに投手はボールの速さよりはストライクを取れるボールを身に付けてもらいたい。

それと3Bのうちの1つである、試合中のボーンヘッドがとても頭に残っています。簡単にやりすぎて、それがすぐに得点につながっていました。

●どんなに強いチームと対戦しても、必要以上に相手のことを気にしすぎたり、ビクビクした態度をとることもなく試合に臨んでいた。今この瞬間、このボールだけに集中する意識がほしい。

●試合中の監督の「言葉かけ」によって選手の良さを無くしてしまい、また試合の空気までも乱し、試合に集中できなくなったようだ。とても難しく、考えさせられました。

●この遠征に参加した6年生の3名が上田シニアで代打として出場し、見逃すことなくしっかりスイングしていた。とても楽しみです。